

交換留学報告書

派遣先	
三重大大学での所属学部・研究科	人文学部文化学科
学年(出発時)	三年
大学名	リール第三大学
国	フランス
留学期間	2019年9月3日～2020年3月28日(～6月30日はオンライン受講)
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	授業
11:00	授業
12:00	授業
13:00	昼食
14:00	
15:00	授業または図書館で自習
16:00	授業または図書館で自習
17:00	自習または友人と過ごす
18:00	帰宅
19:00	
20:00	夕食
21:00	
22:00	課題・自主学習
23:00	
0:00	就寝

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
DEFI前期	16.5	3	仏語	授業内発表、小テスト、課題、期末試験
DEFI後期	3	3	仏語	授業内発表、小テスト、課題、期末試験
日本語学科L2 version	1	1.5	仏語	課題、期末試験
日本語学科L3 histoire	1.5	3	仏語	期末試験
英語学科L2 grammar	1	1.5	英語	小テスト、課題、期末試験
日本語学科M1 seminar	1		仏語	課題
日本語学科M1 日本史	2		仏語	授業内発表、課題
英語学科L2 argumentation	1		英語	授業内発表
英語学科L3 argumentation	1		英語	授業内発表

大学のサポート	
チューターの有無	無
チューターのサポート内容	
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	DEFI 交換留学生のため半期のみ無料

生活	
住居のタイプ	学生寮
住居の名前	Résidence Le Belvédère
部屋タイプ	一人部屋
ルームメイト(国籍)	無
室内設備	キッチン、冷蔵庫、勉強机、トイレ、シャワー、ベッド、クローゼット、暖房等
共用施設	洗濯室、勉強部屋
インターネット設備	有
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩五分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	長期滞在学生ビザ
Visa申請先	フランス大使館
Visa取得にかかった日数	約1ヶ月
Visa取得にかかった費用	約27000円
Visa取得方法、提出書類等	Campus France登録後、必要書類一式を東京のフランス大使館に提出
留学先大学の最寄り空港までの経路	中部国際空港からシャルルドゴール空港まで
渡航費用	往復約19万円
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有
有る場合、その理由	卒業論文と就職活動が未完了の為
就職活動開始時期	2021年3月予定
帰国後の進路	就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ユーロ＝125円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	132,800円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	三重大学学費のみ
宿舍費(月額)	288.7ユーロ
光熱費(月額)	宿舍費に含まれる
食費(月額)	200ユーロ
その他	約64万円
留学期間中にかかった費用の合計	約140万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

今回のフランス留学は、濃厚な『異国の文化』を感じる滞在でした。フランスで有名な黄色いベスト運動一周年が重なり、世界に流布したコロナウイルスの影響が、日常生活に多大な影響を及ぼし、普段体験しないような事態を異国の地で経験したからです。私は、大学入学時からフランス社会に興味を持っており、実際に自分でその地を見て、その生活に密着し、フランス語能力を向上させたいという思いで留学しました。滞在初期は、想像した以上にフランス語が上手く話せず、聞き取ることもできませんでした。寮の管理人はフランス語しか話せず、スーパーでも英語が通じない等、苦労は絶えませんでした。到着初日に同じ寮のフランス人、日本人の友人ができ、彼らの協力もあり生活に慣れていきました。DEFIでのフランス語授業が始まった当初も、事前テストでレベルごとにクラスが分けられているにも関わらず、フランス語が全く聞き取れませんでした。フランス語での会話に躊躇した私ですが、多国籍なクラスメイトとのフランス語での日常会話や、フランス人との交流で、着実にフランス語能力が向上していきました。前期授業ではDEFIのみでしたが、授業内の発表や議論、発言も自信をもってできるようになり、楽しいと感ずることができました。これを機の一つでも多くの授業に参加しようと、後期では日本語学科の授業を中心に、様々な先生に相談をしつつ、単位取得を目的として授業に参加しました。授業を通じて得た友人との会話は、フランス語力の向上に繋がるだけでなく、考え方や物事の捉え方、発想の違いをも感じさせました。その地に根づく文化によって、その分違いがあるのだと、知識のみだったものを初めて実体を伴って認識すると共に、言語を学び、社会の違いに目を向けるのにはやはり、その地に飛び込むのが何より大事なことであったと痛感しました。現地の人との関わりを通じて『異国の文化』を感じたのはもちろんのこと、11月から再燃したデモ活動では、鉄道がストップしデモ規制で道路が封鎖され、大学の敷地内や街で大勢の人や学生、私の友人が集会をしていました。教師も講義を休講にして抗議活動に参加をし、日本ではメディアを通して見ていた世界を目の当たりにしました。2月末のコロナウイルス拡大の際には、パスタの買い占めや、厳しい外出制限、大学のオンライン移行等環境が目まぐるしく変化し、さらにはアジア人への差別的な言動が少なくなく、私もされたことがありました。大変苦しく、悲しい体験でしたが、これも現地でしか経験し得ないことです。コロナウイルスの影響で残念ながら途中帰国となりましたが、この7か月、日々はあっという間に過ぎ、その中で様々な苦楽がありました。後悔は尽きず、遣り残したことは沢山ありますが、この短い期間の中で得たもの、経験したものは何より自分の糧であり、自信に繋がっています。学生時代のこの貴重な経験を活かし、この先も常に挑戦し、飛躍していきたいと思ひます。

今後留学する人へのアドバイス

「思い立ったが吉日」という言葉があるように、留学では思い立って直ぐ行動することが大切です。後回しにしていると後で一気に面倒事が重なり、また不測の事態で留学が終わってしまい、やりたかったことができなくなってしまうこともあります。これは、留学を迷っている方にも言えることです。やってみようかな、と考えている方は、ぜひ機会を逃さず飛び込んでみてください。留学は、自分の行動1つで想像している以上の経験を与えてくれます。その時に大雑把でもいいので、目的や目標を持って留学に挑戦することが大事です。ただ観光や遊びで終わってしまう人もいましたが、目標や目的を持つことで、留学生活はより一層充実した、楽しいものになります。迷うことも困難なことも沢山ありますが、まずは、恐れることなく飛び込んで、何事にも挑戦してみてください！

報告書記入日

2020年6月29日